

## 平成24年度 教育委員会 第12回定例会 議案

1 日 時 平成24年9月20日（木） 午後1時

2 場 所 本館4階403会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

<非>第26号議案 平成24年度条件附採用教職員の正式採用の決定

…非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

## 第12回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	県総合計画評価の進捗状況	1
2	「あすなろ夢講座21『有徳の人』づくり講演会」の開催	3
3	静岡県・浙江省友好提携30周年記念事業「日中青年代表交流」浙江省交流の報告	4
4	平成24年度全国高等学校総合体育大会結果	7
5	平成24年度全国中学校総合体育大会結果	8
	平成24年10月の主要行事予定	9

## 県総合計画評価の進捗状況

(教育政策課)

### 1 県総合計画評価の概要 (企画広報部企画課)

#### (1) 目的

- 基本計画に掲げる数値目標や施策の進捗状況等を評価し、総合計画の確実な推進と最適な手法による具体化を図る。
- 評価部会、総合計画審議会、パブリックコメントを踏まえた評価内容を来年度以降の施策展開等へ反映する。
- 「“ふじのくに”づくり白書」として公表し、総合計画の取組実績や施策展開の方向性について県民へ周知し、県政に対する理解と関心を深め、県政への県民参加の促進に役立てる。

#### (2) 総合計画評価

##### ア 自己評価 (総合計画の大・中・小柱ごとに自己評価を実施)

- 指標の進捗評価：H25の基本計画指標達成を見据えた現状値の評価 (161項目)
- 施策の進捗評価：主要な取組のH23実績  
工程表(主な取組)の進捗状況評価 (210項目)
- 総括評価：指標の進捗及び施策の進捗を踏まえた総合的な評価  
今後の施策達成に向けた課題と方向性

##### イ 第三者評価 (評価部会及び総合計画審議会において第三者評価を実施)

評価部会	日時	8月21日 (教育委員会所管部分)
	委員	谷藤 悦史 早稲田大学政治経済学術院教授 (部会長) 木村 博彦 (株)木村鋳造所代表取締役 小櫻 義明 静岡大学名誉教授 高木 敦子 (有)アムズ環境デザイン研究所代表 根元 敏行 静岡文化芸術大学文化政策学部長 渡辺 豊博 NPO法人グラウンドワーク三島事務局長
	概要	・大柱の進捗評価 ・中柱ごとの指標、施策の進捗等評価

↓ 評価部会での評価結果を総合計画審議会に付議

総合計画審議会	時期	10月5日(金)
	内容	部会評価結果を踏まえた大柱等の進捗評価
パブリックコメント		・ 総合計画審議会付議資料により県民意見を聴取 (平成24年10月～11月)
県議会の関与		・ 平成24年12月定例会 各常任委員会において報告

##### ウ 評価書公表

9つの戦略(大柱)、戦略の柱(中柱)ごとの「自己評価」、「第三者評価結果」、「第三者評価結果を踏まえた今後の展開」を取りまとめ、「“ふじのくに”づくり白書」として公表し、県政に対する県民の理解と関心を深め、県政への県民参加の促進に役立てる。

## 2 教育委員会の対応状況

### (1) 自己評価の概要 【資料1】参照

#### ア 大柱2-1「有徳の人」づくり

戦略の柱	数値目標の達成状況区分							取組の進捗状況		
	A	B <sup>+</sup>	B	B <sup>-</sup>	C	D	評価外	◎	○	●
1 心と体の調和した人間形成の基礎づくり	1						1		1	
2「文・武・芸」三道の鼎立を目指した学校づくり	1		2	3	4			5	18	
3 生涯学習を支える社会づくり					3				1	
計	2		2	3	7		1	5	20	

#### イ 大柱2-2「憧れ」を呼ぶ“ふじのくに”づくり

戦略の柱	数値目標の達成状況区分							取組の進捗状況		
	A	B <sup>+</sup>	B	B <sup>-</sup>	C	D	評価外	◎	○	●
1 多彩な文化の創出と継承					1				1	
2スポーツに親しみ技量を高める環境づくり		1		1	3		1		2	
計		1		1	4		1		3	

### (2) 第三者評価での主な意見

#### ア 評価方法に関する件（指標・数値目標設定等）

- ・県民に対する説明という視点で、進捗評価にアウトカム評価を盛り込んでいく必要がある。施策の方向は、単一の指標で評価できるものはほとんどないため、参考指標による複合的な評価を行う必要がある。
- ・東京都区部は自動車の保有率が低く、子どもが車に乗らないため、一番体力がある。地方に行けば行くほど、マイカーで移動する。まちづくり、公共交通の在り方にも関わるが、指標の設定(新体力テストで全国平均を上回る種目の割合)にも問題があるのではないかと。

#### イ 評価内容に関する件（進捗状況・成果等）

- ・全てが数値で換算できるわけではないから定性的評価とならざるを得ないが、数値があるなら出す努力をすべき。研修会を何回実施し、どのような周知を行い、何につながったのか、明示する努力が必要。
- ・数値目標について、A評価が3つあり、進捗状況も順調に進んでいるとのことだが、不祥事が発生し、幹部職員が頭を下げているのは何なのか。数値目標を達成しつつあるのに、問題があるとはいかがか。県民の思いをあわせて、評価することが必要ではないか。
- ・「それぞれの家庭で『家庭の日』を設けている県民の割合」について、月1回の設定であるのに、目標50%を達成したからA評価というのは、おかしい。核庭システムが崩壊していることを認めている評価で、恥ずかしい。「困っている人がいるときは手助けをする」と答える児童生徒の割合も同様である。基本構想で、コミュニケーション能力の低下が危惧されると認識しており、改善するためにどうしたらよいか、もっとストレートにとらえた方がよい。

#### ウ 今後の施策提案に関する件

- ・静岡県というふるさとを理解する愛郷心を養成しないと、静岡県に人がいなくなってしまう。
- ・矯正教育から特別支援教育と名称を変えただけでなく、教育の究極の目標、普通に学校に通学している子どものように交流して学ばせるのか加えてほしい。健常児と一緒に学び、障害がある子どもでも、努力して精一杯生きていることが認められれば、人間評価につながる。
- ・福祉教育、いじめをなくす教育、人権教育を連携し、一体化させる必要がある。有徳型教育として、発信してほしい。

### (3) 今後の対応

10月に予定されている総合計画審議会に向けて、企画広報部企画課が示す方針等に基づき、評価部会からの意見を踏まえ参考指標の追加、一部目標値の上方修正を行い、今後の施策展開を検討する。

「あすなる夢講座21『有徳の人』づくり講演会」の開催

(総合教育センター)

- 1 目的 「有徳の人」づくりについて考え、県民一人一人が、社会の中でよりよく生きる新たな自分を創造する契機とする。
- 2 対象 県民800人
- 3 主催 静岡県教育委員会
- 4 テーマ 「明日への希望をつなぎ 広げよう『有徳』の輪」
- 5 日時 平成24年12月20日(木) 午後1時30分から3時15分まで
- 6 会場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」中ホール  
(静岡市駿河区池田79-4)
- 7 日程

時間	区分	内容
12:45~13:25	受付	
13:30~13:45	開会 主催者挨拶(講師紹介)	静岡県教育委員会教育長
13:45~15:15	講演	演題 「宇宙、人、夢をつなぐ」 講師 宇宙飛行士 日本宇宙少年団(YAC)副団長 山崎直子氏
15:15	閉会	

8 今回実施する講座内容

本年度の講師 山崎直子氏は、11年という長く過酷な訓練を乗り越え、宇宙飛行士になる夢を叶えた。山崎氏は、著書の中で、人には「将来を考える力」や『『知りたい』という欲求を叶えるために、『考える』という想像力』があると述べている。広大な宇宙を体感したからこそ、一人一人の力や夢の力を信じる山崎氏の講演を聴き、県民一人一人が「有徳の人」づくりについて考え、社会の中でよりよく生きる新たな自分を創造するきっかけとなるようにする。

9 「あすなる夢講座21」の経緯

- (1)開始年度 平成8年度(「あすなる夢講座」教員対象の推薦研修として開始)
- (2)経緯 平成15年度から、「あすなる夢講座21」として参加対象を県民に拡大し、グランシップを会場に開催している。

(3)実施状況

年度	演題	講師	受講者数
20年度	「あきらめない」「なげださない」生き方	諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實 氏	県民940人
21年度	元気な脳を作ろう	浜松医科大学名誉教授 高田 明和 氏	県民730人
22年度	世界の山々をめざして	登山家 田部井 淳子 氏	県民855人
23年度	生きる力	建築家・東京大学名誉教授 安藤 忠雄 氏	県民858人

(件 名)

静岡県・浙江省友好提携 30 周年記念事業  
「日中青年代表交流」浙江省交流の報告

(社会教育課)

静岡県内の各分野の青年代表が、中国浙江省の青年代表や中国駐在邦人との交流を通して、相互理解と信頼関係を深め、人脈形成や情報交換等を行うとともに、中国の経済、社会、文化への理解を深めることを目的として、浙江省交流を実施した。

- 1 日 時 平成 24 年 8 月 10 日(金)～8 月 17 日(金) 7 泊 8 日
- 2 場 所 中国浙江省杭州市・嘉興市・嘉善県西塘、上海市
- 3 参加者 35 名

〔内訳〕 団長 栗原 績 日中青年代表交流実行委員会会長  
県内青年 30 名、事務局員 4 名

※浙江省青年とのホームステイの組合せについては別添資料参照。



8/13 中国移動通信視察

4 日 程

	8/10 (金)	8/11 (土)	8/12 (日)	8/13 (月)	8/14 (火)	8/15 (水)	8/16 (木)	8/17 (金)
午前		西湖遊覧 茶葉博物館見学	ホームステイ	現地企業 (中国移動通信) 研修	杭州 グループ ワーキング	嘉興経済技術 開発区・日系 企業(嘉興紅忠 鋼板加工)研修	上海 グループ ワーキング	上海浦東 空港→
午後	静岡空港 →上海浦東空港 →杭州市	対面式 ホームステイ	ホームステイ	グループ 別 企業等研修	現地企業 (阿里巴巴、伝化集団) コース別研修	西塘視察 →上海市		静岡空港
夜			「300 人の第九」観賞	レブ ション		交流夕食会		
宿泊	杭州市内	ホームステイ先	杭州市内	杭州市内	杭州市内	上海市内	上海市内	

※ 網掛け部分には、大須賀副知事が参加。

5 参加者の声〔事後アンケート結果(回答 30 名)より抜粋〕

(1) ホームステイ・・・「よかった」87%、「今後も必要」83%

- ・この研修の中で、一番現地の方と親密に交流できる時間。この交流の醍醐味、意義であると思う。
- ・中国での一般家庭の様子を知ることができるのは貴重。短い時間ではあったが、国の問題や社会の様子、歴史などゆっくり話しを聞くことができ、有意義だった。
- ・言葉の壁は予想以上に大きく、相手にも戸惑いが感じられた。

(2) 現地企業(杭州市内)研修・・・「よかった」100%、「今後も必要」93%

- ・現地企業の内部を見学するだけでなく、上役と話をする機会があることがよい。今後も継続すべき。
- ・ビジネスを成功させている企業の姿勢や取組を知ることができた。特に質疑応答が有意義だった。
- ・質問時間等が限られていたので、もう少し時間にゆとりがあればよかった。

(3) 開発区・日系企業(嘉興市内)研修・・・「よかった」96%、「今後も必要」90%

- ・開発区は大変勉強になった。中国の産業地域の位置関係や今後の発展の可能性を知ることができた。
- ・日系企業の現状、中国の勢い、抱えている問題を知ることができてよかった。
- ・質問時間を長く取っていただき、たくさんの意見交換を行うことができてよかった。

(4) 上海在住邦人との交流夕食会・・・「よかった」97%、「今後も必要」97%

- ・細かな点まで多くの情報をいただいた。何よりも海外で働く人達の考え方、発想、パワーに驚いた。
- ・今後、中国で仕事をする際の情報やパイプができたのでよかった。
- ・自分が聞きたかった業界・分野の方に来ていただき、非常に勉強になった。

「日中青年代表交流」浙江省交流 写真



第2日目 8月11日(土) 西湖遊覧  
浙江省人民対外友好協会の虞副会長が遊覧船に同乗し、友好提携30年の交流の歴史と未来について伺いました



第2日目 8月11日(土) ホームステイパートナーとの対面  
1泊2日のホームステイに出かける苅谷さん(右)と王さん



第4日目 8月13日(月) 現地企業研修(中国移動通信)  
社員との交流では、静岡県の青年から活発に質問が出されました。大須賀副知事も研修の様子を視察しました



第4日目 8月13日(月) グループ別企業・施設研修  
E班(教育関係)の7名は、采荷第二小学校を訪問し、校内の見学と教員との意見交換をしました



第4日目 8月13日(月) 歓迎レセプション  
最後には、日中青年が肩を組み、ともに「乾杯」を歌って友情を深めました



第5日目 8月14日(火) 現地企業コース別研修  
企業間取引サイトを運営する世界的企業のアリババを訪問し、社内視察と社員との質疑応答を行いました



第6日目 8月15日(水) 日系企業研修(嘉興紅忠鋼板加工)  
浙江省内の経済発展を支える嘉興開発区内の日系企業を視察しました



第6日目 8月15日(水) 上海交流夕食会  
上海で活躍する各界の県関係者を招き、情報交換をしました。なすび上海店総経理の寺尾さん(中央)と青年たち

平成 24 年度全国高等学校総合体育大会結果

(スポーツ振興課)

- 1 大会期間 平成 24 年 7 月 28 日 (土) ～ 8 月 20 日 (月)
- 2 開催地 北信越ブロック (新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県)
- 3 実施競技 29 競技
- 4 本県出場選手数 男子 59 校 367 名 (57 校 389 名)  
(昨年度出場選手数) 女子 49 校 319 名 (60 校 296 名)  
合計 76 校 686 名 (82 校 685 名)

5 入賞数の年度別推移

年 度	1 位	2 位	3 位	4 位	5～8 位	計
平成 20 年度	5	4	7	2	31	49
平成 21 年度	4	6	5	1	32	48
平成 22 年度	5	2	13	5	34	59
平成 23 年度	4	9	9	6	36	64
平成 24 年度	6	8	12	4	24	54

※平成 23 年度は男子高校駅伝入賞 (第 7 位) を含む

6 成績まとめ

- 入賞数は、1 位から 3 位の獲得数が 26 と昨年より 4 種目増え、優勝数は 6 種目と、前年を上回ったが、4 位から 8 位までが減少したため、全体では 54 種目に留まった。5 年連続で入賞者を出している競技は陸上競技 (4 年連続優勝者を輩出)、水泳 (競泳・飛込)、柔道、登山、ボート、空手道の 6 競技である。
- 陸上競技の浜松市立の女子 4×400m リレーは、杉浦はる香、松本奈菜子、名倉彩夏、建部カオリが 3 分 40 秒 28 の県高校新記録で初の栄冠に輝いた。
- 体操の女子個人の井上和佳菜は、跳馬でユルチェンコ 2 回ひねりを決め、15.300 の高得点で優勝、段違い平行棒で 3 位となった。個人総合も全国選抜優勝で期待されていたが、予選 1 位で通過したものの、8 位入賞に終わった。
- 柔道の女子 48kg 級の岡本理帆は、3 月の全国高校選手権大会に続く全国制覇。5 月に全日本選抜体重別選手権でロンドン五輪代表の福見に決勝であと一步までに迫り、周囲からの期待も大きく重圧の中での優勝であった。
- アーチェリー女子団体では、浜松商業の伊藤真由美、杉本智美、鳥居佳世の 3 選手が 208 点の大会新記録で優勝を決めた。
- 競泳の男子 200m 自由形の小松巧が、1 分 49 秒 90 の県高校新記録で優勝した。また、400m もロンドン五輪銅メダリストの萩野選手に挑んだが、惜しくも 2 位であった。
- 競泳の女子 800m 自由形の浅山美貴が、2 位以下に 3 秒 69 の大差をつけ、8 分 44 秒 79 で優勝した。400m でも 2 年連続の 3 位となった。

7 優勝団体・優勝者

陸上競技	女子	4×400m リレー	浜松市立
体操	女子	跳馬	井上 和佳奈 (富士市立 2 年)
柔道	女子	48kg 級	岡本 理帆 (藤枝順心 3 年)
アーチェリー	女子	団体	浜松商
水泳 (競泳)	男子	200m 自由形	小松 巧 (飛 龍 3 年)
水泳 (競泳)	男子	1500m 自由形	浅山 美貴 (磐 田 農 3 年)



## 平成24年度全国中学校総合体育大会結果

(スポーツ振興課)

- 1 大会期間 平成24年8月17日(金)～8月24日(金)
- 2 開催地 関東ブロック  
(東京都 栃木県 群馬県 茨城県 埼玉県 千葉県 神奈川県 山梨県)
- 3 本県出場競技 14競技(16競技中)
- 4 本県出場選手数 男子 60校 182名 (61校 223名)  
(昨年出場選手数) 女子 47校 152名 (44校 134名)  
合計 94校 334名 (85校 357名)  
※(平成23年度駅伝を含む)

### 5 入賞数の年度別推移

年度	1位	2位	3位	4位	5位～8位	計
平成20年度	4	5	6	4	18	37
平成21年度	2	5	9	4	16	36
平成22年度	9	6	3	1	18	37
平成23年度	1	3	2	4	12	22
平成24年度	6	2	6	2	17	33

駅伝を含む(平成20～23年度)

### 6 成績まとめ

- 東海大会において、団体種目が健闘し、16競技中14競技において全国大会の出場権を獲得した。
- 陸上競技では、藤森菜那(浜松市立入野中学校3年)の2種目優勝をはじめ、6種目で優勝し、入賞者数についても16種目と大幅に増加した。
- 団体種目は7種目入賞し、昨年より1種目増加した。
- バスケットボール女子で常葉学園が3位、浜松開誠館が5位となり、団体同一種目で2校入賞した。
- サッカーでは、東海大翔洋高等学校中等部が準優勝に輝き、同時に大会のフェアプレー賞を受賞した。

### 7 優勝者

陸上競技	男子 800m	有川 湧貴	浜松市立天竜中学校 3年
陸上競技	男子 3000m	太田 智樹	浜松市立浜名中学校 3年
陸上競技	女子 200m	大竹 佑奈	浜松市立高台中学校 3年
陸上競技	女子走幅跳	天城帆乃香	浜松市立天竜中学校 3年
陸上競技	女子4種競技	藤森 菜那	浜松市立入野中学校 3年
陸上競技	女子 100m ハードル	藤森 菜那	浜松市立入野中学校 3年

報告事項

平成 24 年 9 月 20 日

(件 名)

## 平成 24 年 10 月の主要行事予定

日 時	行 事 名	会 場 等
10/1 (月) 午後	◎教育委員会定例会 (10 月第 1 回)	県庁西館 7 階 教育委員会議室
10/17 (水) 終日	◎移動教育委員会	静岡県立清水南高等学校
10/23 (火) 午前	◎教育委員会定例会 (10 月第 2 回)	県庁本館 4 階 議会 403 会議室

◎全委員

### <県議会 9 月定例会の日程>

開 会 9 月 19 日 (水)  
本会議 (質問) 9 月 24 日 (月) ~ 28 日 (金)  
委 員 会 10 月 2 日 (火) ~ 4 日 (木)  
閉 会 10 月 11 日 (木)  
会 期 23 日間

## 第12回定例会 追加報告事項

番号	項 目	Page
6	故木村百合子教諭の公務災害認定について	1
7	<非>平成 25 年度静岡県公立学校教員採用選考試験結果	非
8	<非>重大な生徒指導事案報告	非

## 故木村百合子教諭の公務災害認定について

(福利課)

### 1 概要

地方公務員災害補償基金(以後、基金という。)静岡県支部長が、平成18年8月21日付けで行った木村憲二(被災職員の父)に対する公務外認定処分に対して、平成20年7月4日木村憲二が、公務外認定処分取消控訴を静岡地方裁判所に提訴、平成23年12月15日に静岡地方裁判所から「公務外認定取消し」基金敗訴の判決。

基金は、一審の静岡地裁の判決を不服として、平成23年12月28日に東京高裁に控訴。平成24年7月19日に東京高等裁判所から「控訴棄却」の判決が言い渡された。

基金が上告を断念し、平成24年8月2日判決が確定、平成24年8月16日付けで公務災害として認定された。

#### (1) 被災職員(被災時)

磐田市立東部小学校 木村百合子教諭 (24歳)

平成16年4月1日より同校勤務

#### (2) 災害発生日及び傷病名

被災職員は、勤務校で新規採用教員として4年生の学級担任をしていたが、児童の指導や学級経営に悩んでいた。その後、うつ状態から平成16年9月29日に焼死した。

### 2 要望書の提出

- 提出日 平成24年9月13日(木)
- 提出者 木村和子(被災職員の母)ほか支援者6名
- 応対者 教育長、教育次長ほか関係課長
- 要望事項 別紙のとおり

### 3 その他

#### ○遺族への補償等

〈静岡県地方公務員災害補償基金静岡県支部〉

- 遺族補償年金(受給権者:父 平成21年10月から支給対象)
- 遺族特別給付金
- 遺族特別支給金 (一時金)
- 遺族特別援護金 (一時金)
- 葬祭補償